

上町・はるかぜ書店

交流スペース新設

ひきこもり経験者の就労支援店舗として運営されている上町の「はるかぜ書店」では1階部分の半分に、手作りの作品が展示・販売できるレンタルボックスを備えた喫茶店を設け、6月21日より「harucafe」として新装開店する。喫茶店では常時、パリス

タ直伝で鮮度の良い豆を挽きたてにこだわって淹れるコーヒーや、山形産ジュースなどが味わえる。ボックスは1枠(20cm×77cm×16cm)で、月あたり千500円・2千円で利用者を募集中。喫茶スペースは2時間千円で貸切も可能。「どんな人も気軽に交流できるよ

うな場にしていきたい」と店長の石井利衣子さん。営業時間は平日午前10時から午後5時半まで。土日・祝日は定休。問い合わせは同店☎046(804)7883まで。



地元画家の作品が並ぶ

※本紙に掲載の情報は、取材時点の情報に基づいて記載しております。変更がある場合がございます。ご了承ください。